

神戸市少年団登山教室山行（1月14日）報告

2024. 1. 15

1. 参加者

教室生参加者 18名

指導者 岳連関係者6名

岳連加盟団体会員1名

教員ボランティア1名

大学生ボランティア2名

2. 記録

9時 神戸地下鉄谷上駅改札口

教室生集合

9時 8分 神戸地下鉄谷上駅改札口

出発

10時25分 森林植物園 正門 着

スポーツ広場で「とんど焼き」見学

11時30分 森林植物園 西口 発

洞川湖、仙人谷を経て

12時05分 再度公園 着

昼休み（昼食）

13時10分 再度公園 発

再度山、大龍寺、二本松を経て

13時51分 大龍寺 着

14時41分 滝山城址 着

滝山城跡の曲輪、堀切を見て

15時25分 JR新神戸駅 解散



3. 準備物

・神戸市地下鉄谷上駅からJR新神戸駅までの地図（1/25,000）

・「とんど焼き」チラシ

4. 活動内容と感想

気温は低いが冬晴れの気持ちのいい朝、神戸市地下鉄谷上駅に教室生達が集まった。みんなが集まったところで凍った山道や落ち葉がたまる山道を歩く際に足を滑らさないように注意。具体的には両手を出して歩くこと、手が冷たいときには手袋をすることを注意する。また、「とんど焼き」の飛んでくる「火の粉」に気を付ける事など簡単な説明をして出発。途中の川の湿地には氷が張っていた。ただ山道は凍ってなく足を滑らせる心配はなく安心。森林植物園の「とんど焼き」に行く登山客に何組も出会う。暫く進んで小休止。地図を広げて現在位置の確認。そしてまた歩き出す。



そうするうちに森林植物園に到着。「とんど焼き」に行く多くの車に注意して森林植物園に入園。「とんど焼き」は今年で20回目、阪神淡路大地震で犠牲になった人々への鎮魂と人々の安全と健康を祈念して始まったが元旦の能登半島地震直後でもあり「とんど焼き」は例年にも増した祈りの場であった。園内のスポーツ広場の真ん中に10mほどの高さに組まれて立てられた竹や木々に点火。黒い煙を出しながらあっという間に大きな火柱が立ち大きく火が燃え広がった。昨年は風もあり「火の粉」が飛んできて何人かの衣服に穴が空いたが今年は風もなくみんなに注意も繰り返したことで事なきを得た。

11時過ぎに森林植物園を出発。風のない明るい陽射しの下、少し冷たい空気が広がり汗もかかず冬で葉の散った明るい木々の間を快適に進む。

12時過ぎに再度公園着。ここでゆっくり昼休憩。教室生は思い思いに広がって昼ごはんを食べた。



1時に再度公園を出発。再度公園近くの再度山頂上に登る。山頂から神戸の街が見えた。ここで再度山と弘法大師についての話をする。この後、

頂上すぐ下の亀の岩を見て大龍寺に到着。両ひざを痛めた教室生が出たのでテーピングを処置をする。大龍寺参道を下り葉を落とした明るい森の中の登山道を歩いて城山に向かう

2時半頃「滝山城址」の石碑がある城山に到着。暫く歩いて一見普通の森の中の土地の様子をよく見ると5mくらいの崖や平坦な所、土地が低くなった長い窪地の存在が分かる。それらは曲輪群や堀割りとこの事。城山を過ぎてから落ち葉重なる登山道を一気に下りJR新神戸駅のすぐ北側にでた。3時25分にJR新神戸駅に到着し解散した。

今回の山行では阪神・淡路大震災鎮魂の「とんど焼き」、再度山と空海、城山などハイカラな港町という印象の神戸とはまた違う顔を持つ神戸を今回の山行で体験する事ができた。

文責 大西